あさひむら 議会だより

2016.7.29

オリンピックめざしてがんばるぞ！（あさひ保育園）

第21号

目　次

- 全国正副議長研修会報告／行政視察報告 … 2
- 議会の議決事項の概要 …… 3
- 6月議会審議のポイント…… 4
- 総務産業委員会報告／社会文教委員会報告 … 5
- 一般質問　ここが知りたい …… 6
- かたくりの里竣工式 ……10
- 鎖川愛議会河川清掃／議会活性化委員会報告 …11
- 議会活動日誌／村民の声／編集後記 ……12

「議会だより」第21号　発行日／2016年7月29日
発行／朝 日 村 議 会　〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村大字小野沢296-5　TEL 0263-99-2001㈹　FAX 0263-99-2745
印刷／川越印刷株式会社　　Eメール gikai@vill.asahi.nagano.jp

研修報告

全国町村議会正副議長研修会に参加して

平成28年度全国町村議会正副議長研修会が例年のとおり、5月30日31日に東京「サンプラザ中野」で開催され、全国町村から約1，300人近くの正副議長が集結、私たち東筑5村の正副議長もそろって参加をいたしました。

今年の研修は～これからの町村議会を考える～をテーマとして、3人の講師から「地方議会の役割と改革の行方」「地域経済の活性化」「今後の政局・政治の動きを読む！」などの講演と神奈川県大磯町・長野県飯綱町の議会改革事例の発表を2日間にかけて研修いたしました。

講演の中で印象に残っていることは、全国町村議会の抱えている課題とし、議員定数の少なさ、議員報酬・政務活動の少なさ、そして議会事務局員の少なさ等を取りあげ、議会が果たすべき重要な役割（行政執行機関である首長の考えに対して、住民代表として多面的に評価けん制する議決機関の議会）が弱体化しつつあることを講師の先生方が強調されておりました。また、議会改革事例では議会力を向上させ、首長と切磋琢磨できる議会実現に向けて、学ぶ議会・十分に討議できる議会構築に取り組んでいる様子を伺いました。

こうした講演・事例研究を通じて改めて自覚させられたことは、議会力、議員力を向上させ住民から期待される議会機能の発揮に努めて行かなければならないと言うことであります。何をどうすれば良いのかまだ見えませんが、今回の研修内容を題材に試行錯誤を繰り返し研鑽努力することで、少しずつ前に進んでいこうと思っております。

【追伸】研修会場で熊本県から参加の正副議長の皆さんから、全国議会に対し被災支援へのお礼の挨拶がありました。

（清沢正毅）

庁舎建設委員会・議員合同視察

去る4月11日・12日庁舎建設委員会の皆様と議員合同で、新庁舎建設に向けて視察してきました。

1日目は朝日村の唐松材の加工をお願いしている長和町にある斉藤木材工業の工場視察と木造建築の長和町庁舎の視察を行い、見聞を高めてまいりました。

2日目は、愛知県の設楽町の木造庁舎を視察しました。地元のヒノキ、杉材を使っての木の薫りがひろがる、あたたかく親しみのある庁舎でした。設楽町の人口は、5，077人、世帯数2，015で、朝日村の10％程多い町です。木造平屋建て（一部鉄骨造）で、敷地面積9，021㎡、建築面積3，231㎡延床面積2，917㎡（図書館・子どもセンター含む）で、使用した木材は原木で（直径30㎝・長さ4ｍの丸太に換算）ヒノキが約2，300本、スギが約1，600本使われているとのことでした。種々の事柄を参考にし、庁舎建設に生かしていきたいと思います。

長和町庁舎

（上條俊策）

議会の議決事項の概要

～ご意見・要望は下記議会事務局まで～
E-mail gikai@vill.asahi.nagano.jp

平成28年朝日村議会6月定例会（平成28年6月）

◆議案第38号

○専決処分の承認を求めることについて（朝日村税条例の一部を改正する条例について）

平成28年度税制改正における「わがまち特例」を導入し自治体の判断で税率等を決定できる様にした。（全員賛成可決）

◆議案第39号

○専決処分の承認を求めることについて（朝日村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について）

●国民健康保険税の賦課限度額を52万円から54万円に見直す

●低所得者に対する軽減措置について判定所得を緩和する。

5割軽減は26万円から26.5万円、2割軽減は47万円から48万円にする。（全員賛成可決）

◆議案第40号

○専決処分の承認を求めることについて（平成27年度朝日村一般会計補正予算（第8号）について）

歳入歳出それぞれ7，343万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ33億7，013万円とする。庁舎建設基金積立金7，058万円。（全員賛成可決）

◆議案第41号

○専決処分の承認を求めることについて（平成28年度朝日村一般会計補正予算（第1号）について）

歳入歳出それぞれ25万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ31億5，335万円とする。熊本地震義援金25万円。（全員賛成可決）

◆議案第42号

○特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

特別職として、総合審議会委員・有害鳥獣駆除実施隊・小学校医（整形外科）を追加。（全員賛成可決）

◆議案第43号

○特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例について

新たな教育長制度により教育長の給与額について、49万2千円を50万2千700円に改める。（全員賛成可決）

◆議案第44号

○村道路線の認定について

古見70号線（旭が丘団地）西洗馬128号線、129号線、130号線（向陽台団地）の4路線を認定する。（全員賛成可決）

◆議案第45号

○平成28年度朝日村一般会計補正予算（第2号）について

歳入歳出それぞれ1億777万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ32億6，112万円とする。歳入の主なものは、前年度繰越金7，438万円、コミュニティ事業助成金1，850万円。歳出の主なものは、雨氷被害（河川内整備3，000万円、鳥獣被害防止柵580万円、スキー場特別会計繰出金1，150万円）。コミュニティ事業（古見区集落センター改修補助金1，500万円、消防団防寒着257万円、除雪機250万円）。国土利用計画策定313万円。橋梁点検（国補助事業）1，100万円。又、庁舎建設用木材保管料300万円について平成29年度を期限に債

務負担行為とした。
（全員賛成可決）

◆議案第46号
○**平成28年度朝日村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について**
歳入歳出それぞれ75万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ5億8，186万円とする。平成30年に向けての国保制度関係のシステム改修費75万円。
（全員賛成可決）

◆議案第47号
○**平成28年度朝日村介護保険特別会計補正予算（第1号）について**
歳入歳出それぞれ52万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ4億9，462万円とする。マイナンバー対応電算システム改修52万円。
（全員賛成可決）

◆議案第48号
○**平成28年度朝日村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について**
歳入歳出それぞれ18万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ4，778万円とする。マイナンバー対応電算委託18万円。
（全員賛成可決）

◆議案第49号
○**平成28年度朝日村簡易水道特別会計補正予算（第1号）について**
歳入歳出それぞれ100万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ2億250万円とする。向陽台住宅団地2期造成工事に伴う水道施設購入費100万円。
（全員賛成可決）

◆議案第50号
○**平成28年度朝日村下水道特別会計補正予算（第1号）について**
歳入歳出それぞれ504万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ4億9，154万円とする。向陽台住宅団地2期造成工事に伴う下水道施設購入費500万円。
（全員賛成可決）

◆議案第51号
○**平成28年度あさひプライムスキー場事業特別会計補正予算（第1号）について**
歳入歳出それぞれ1，150万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ4，240万円とする。雨氷被害によるスキー場リフトの修繕費1，150万円。
（全員賛成可決）

◆発議第2号（社会文教常任委員会に付託）
○**義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書について**
衆参議長、総理大臣、関係大臣に意見書を提出する。
（全員賛成可決）

◆議員派遣について
○**次のとおり議員を派遣する。**
東筑摩郡村議会議員交流会・朝日村山形村議会議員研修会・長野県町村議会議員研修会・東筑摩郡村議会議員大会

◆閉会中の継続審査及び調査の申し出について
●事件
●議会運営委員会
①議会運営委員会の所管事務に関する事件
②議長の諮問に関する事件
●総務産業常任委員会
①総務産業常任委員会の所管事務に関する事件
●社会文教常任委員会
①社会文教常任委員会の所管事務に関する事件
●期限
●次期定例会開会まで

6月議会審議のポイント

今議会では補正予算が審議のポイントとなりました。村が執行済の事業を補正予算として提出した事が問題となりました。本来予算（補正予算含む）は、これから取り組む事業について事前に議会に説明し議決を経て執行されるものです。ところがこの原則が守られず議会への説明をしないまま仕事をした為、行政の姿勢について今後の是正を求めたのです。その結果6月議会最終日の本会議前に全員協議会を開き、村側から説明を求めて議会として了解をし、中村村長からは謝罪がありました。問題となった補正予算は新庁舎へ使用される予定の村民から寄付された樹齢100年以上のヒノキ2本の処理費用です。これらは「象徴木」として庁舎一階の村民ホールに設置予定です。既に4月下旬伐採され、5月上旬ひび割れを防ぐための「背割り加工」を実施しており現在は自然乾燥しています。これらの経費として260万円が加工関連委託料として補正予算に計上し、300万円が木材保管料として平成29年までの債務負担が組まれました。議会としてはこれらについて慎重審議のうえ可決しました。

（塩原智恵美）

総務産業委員会報告

6月定例議会において陳情、要望の各1件が委員会に付託されました。

陳情5号　緊急事態基本法の早期制定を求める意見書提出を求める陳情については継続審査としました。理由として大規模な自然災害の時の国の対処の必要性は有ると思いますが、この法律で言う緊急事態とはわが国に対する外部からの武力攻撃、テロリストによる大規模な攻撃、大規模な自然災害等、国民及び国民の安全に重大な影響を及ぼす事態である。そのような事態に非常事態宣言をして首相に権限を持たせて対処させるのが緊急事態基本法ある。ということで、どんな法律になるのか良くわからないのでもっと研究してからでないと採択できないと全会一致で決めました。

要望第1号　村道西洗馬7号線・長坂周辺の環境整備に関する要望書については上組地区から提出されましたが継続審査としました。要望の内容は上組地区、向陽台から村の中心部につながる村道7号線の長坂周辺の道路の環境整備、改良と通学路としての復活です。委員会では現地調査を行い道路の急カーブや急勾配、木がトンネルのように道路を覆っている現状を確認し、交通安全上、道路の一部の改良と支障木の除去の必要性を感じました。

総務産業委員会報告会（上組公会所）

ただしこの地域については、村でこれから新たに作ろうとしている向陽台と県道を結ぶ新設道路の計画があります。上組、向陽台地区の皆さんがより安全で利便性の良い生活道路を確保していただくことが最も重要であるとの思いから、今回の要望事項だけにとらわれず新たに計画されている道路との比較検討をして、調査研究を重ね地元住民の皆さんの納得のいく快適な生活道路の実現を果たすことを狙いとして審査を続けます。以上が継続審査とした理由でございます。

（委員長　上條昭三）

社会文教委員会報告

去る6月14日に委員会を開催し、**請願第1号「義務教育費国庫負担制度の堅持」に関する請願**については、慎重に審査した結果、全会一致で「採択」と成りました。

審査の主な経過を申し上げますと、義務教育費国庫負担法が制定され、地方自治体の教育水準が維持されてきたが、国は構造改革路線の下で、教職員給与国庫負担の割合を1／2から1／3に改定し地方自治体の負担を増加させてしまった。

教職員人件費を総額裁量制としたので、財政難の折、正規採用の教師数を抑制して、講師の先生で任用する自治体が増えて教育水準の差や処遇のバラツキが発生し教育行政上の支障と成って来ている。

これらを是正するためにも、国庫負担制度の堅持が必要であるとの結論に達しました。

3月21日の本会議に於きましても全員一致で「採択」されました。

尚、意見書は衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣に提出いたします。

（委員長　林　邦宏）

一般質問 ここが知りたい

地震に対する備えについて及びドローンの活用について

6番　上條昭三

問　熊本県を中心とした大地震は甚大な被害をもたらしました。益城町では震度7を2回も記録しました。余震は熊本県内外を移動し、大きな余震も長く続きました。そして想定外の地震であったのと、余震が続いたため被災者は家に入れず避難所にも入りきれず車の中で寝泊りする被災者も多くいました、また被災当初は想定外地震であったため、食料と水の供給がうまくいかなかったようでございます。直下型地震は日本列島のどこでも起きる可能性が有るそうでございます。最大震度7の揺れが朝日村では起きる可能性は否定できないと思います。朝日村の防災ハンドブックによると朝日村の地震の被害想定は震度6までございます、しかも被害はわずかとなっております。この地震の防災計画を今回の熊本地震のような震度7を想定してしかも余震が続くことも想定して、想定自体を見直し新たな対策を立てていただきませんか。災害時の業務継続計画これをBCPと言うそうですが、これは災害が起きたとき、災害対応の業務と通常業務の中で、優先度の高い業務を非常時優先業務に選び災害時から時系列で業務の実施を決める計画でございます。熊本地震場合を見てみると使えない庁舎が幾つか有りました、朝日村の新庁舎が完成するまでは熊本のような地震の対策として代替庁舎の事前選定が必要であると思います。このような災害時の業務継続計画はされていますでしょうか。

総務課長　地震の被害想定については国、県による設定が行われ市町村単独では設定出来ない。災害時の業務継続計画は策定できていないが、担当者が研修会を受講するなどして策定を目指している。　代替庁舎についてはマルチメディアセンターを考えている、被害によっては中央公民館、ピアラインなど。

問　3月の一般質問の時に山中の雨氷被害の調査にドローンを活用してはどうかと提案しました。いよいよ朝日村にも松くい虫が入ってくると思われます。山の中の松くい虫の監視にもドローンが活用できるのではないでしょうか。

産業振興課長　今後は松くい虫の調査にはドローンを活用していく。

朝日村公営住宅民間委託管理の推進について
村道点検時のカーブミラーの修繕時期について

7番　北村直樹

問　朝日村には現在28戸の公営住宅があり、その住宅を利用している村民も多いと思います。景気の波が地方へ行き届いていない現状の中、いろんな諸事情で所得が低い方にとって公営住宅はなくてならない存在です。村内の公営住宅は築30年を過ぎた物件があり、村では朝日村公営住宅等長寿命化計画を打ち出し、安全と快適な住まいを長期にわたって確保するため、建替修繕を本年度から10年にわたって行っていくと伺っております。しかし、昨今の日本の震災・災害を考えれば早期に建替修繕が必要であると考えます。村では新役場庁舎の建設を控え、財源が厳しい状況であれば今こそ民間の力を借り、早期にその代替になる住宅、村指定公認のアパートを用意していくことも朝日村には必要ではないでしょうか。昨今の家庭状況は昔と比べずいぶんと変わってきております。若い夫婦向け用の建物、家族向け用の建物、そして単身者向けの建物等、その用途に応じた住宅が今後、朝日村には必要であると考えております。

答弁　朝日村公営住宅等長寿命化計画は、公営住宅の保全の観点から中長期的な維持管理計画の下、更新コストの削減と一時的は事業費コストの平準化を図り、建替修繕を行っていく。公営住宅の民間委託管理については、今後議論を重ね土地活用を含め対応していく。

問　昨年、行政・区長・議員による村道の総合点検を行いました。このことにより本年度から村道の修繕が開始されました。道路の修繕はある程度計画がなされておりますが、カーブミラーの修繕対応は安協での対応であると伺っております。修繕が必要と認めたカーブミラーは劣化が激しく、ミラー全体が日焼けをし、ミラーとしての機能を果たしておりません。カーブミラーは車を運転するドライバーはもちろん、自転車を運転する児童にとって安全を確認するために必要なものです。そこでカーブミラーの修繕時期についてお尋ねします。

答弁　昨年の整備要望で伺っているカーブミラーについては、現在、安協の予算の範囲内で修繕することを計画している。修繕時期については今後検討し、予算の範囲内で修繕をしていく。

・大規模災害時における「朝日村の備え」再点検について
・朝日村ホームページの充実を

8番　小林弘幸

朝日村の備え再点検について

問　住民は食料・水・必需品を3日以上備蓄するとあるが、村の備蓄関係の現状は。

総務課長　平成25年度の災害対策基本法の改正により、住民の責務として生活必要物資を3日以上備蓄するとなった。村では家屋の倒壊等により家より物資が持ち出せない事を想定し、人口の5％2500人分の物資、特に食料は3日備蓄する事としている。14年ぶりに策定された長野県の被害想定報告書では、大幅に被害想定は減少し避難者数は1，154人から140人となり、現在の備蓄で3日以上確保できる。

問　災害対策本部条例が制定されているが、具体的な事務とは。

総務課長　村長が災害対策本部を設置し、6部が組織され災害防止計画に定められた事務と対策本部会議の決定事項を推進する。約40項目の活動計画にまとめられている。平成7年に長野県下77市町村で災害時応援協定書が締結されている。

問　緊急指定避難所として、中央公民館は地震時に使用できないが耐震工事の予定は。

村長　来年度に向け役場新庁舎に取り組んでいる。それが終わると次には取り組む事となる。

問　耐震補強工事の補助金60万円の増額は。

産業振興課長　平成26年以降、耐震診断46件、耐震改修4件で、昨年度活用は無く引続き制度の周知をしていく。補助金増額の件は、近隣の状況を見たり、要望等を確認する中で検討したい。

ホームページの充実について

問　人口ビジョンの必達に向けても、HPの〝でき〟の良し悪しが朝日村のイメージを醸成する為、利用者視点での改善が必要である。問題点をどの様に捉えているか。今後の対応は。

総務課長　現在のHPは平成26年に導入、多くの問題があると認識をしている。コンテンツマネジメントシステムの利用で職員が作成しているが、操作が難しい為研修をし、作業のルール化を図る事とした。今年度予算の90万円は、地域おこし協力隊の職員を募集し、朝日村の魅力発信として観光や定住に特化したHPを作成し、村のHPとリンクさせていきたい。

1　農業施策と農業振興地域整備計画書の見直しについて
2　上組辺地整備計画について

9番　塩原智恵美

問1　今年5月公表された2015農林業センサスによると朝日村はこの10年間で農業の姿が大きく変わった。その理由を3点挙げると一つは販売農家戸数が1／4減少し、現在は215戸。特に減少著しいのは1～3haを耕作してきた準専業農家で、反面3～20haの大規模経営体が増えており規模拡大による稼ぐ農業をしている。2つ目は農業就業者数が32％減少。特に著しいのは20～40代。3つ目は耕作放棄地の増加で現在は42haとなっている。この現実を村はどう受け止めているのか。また朝日村は農業を基幹産業と位置付けており村全体が農業振興地域に指定されていることを考慮すると農振地域整備計画書（H11以来総合見直しされていない）の早急な見直しの上、これからの農業施策展開を図る必要性を感じるがどのようにお考えか。

産業振興課長　農家数の減少、耕作放棄地の増加は当村の現状として受け止めている。今後農業人口を増やすのは若手就農者をいかに確保するかが課題。農業振興地域整備計画書は本年度総合見直しとして取り組む。今年は村の土地利用計画の見直しが実施されることや、2015農林業センサスも公表されたことから現実の課題も捉えた上で、今後の朝日村農業をどうしていくか反映するものにしたい。

問2　村では上組地区を辺地に指定し、H25～29までの5年間の整備計画を立て、これまでに向陽台住宅団地における道路や下水道などのインフラを整備してきた。最終年となるH29は旧おひさま保育園の改修工事（6千万円）と、向陽台から保育園を結ぶ新設道路（1億3千万円）を計画している。この一方で地元では整備計画について行政から十分な説明がされていないことによりH29予定事業について判断に迷っている。よって辺地計画の目的など基本的な事柄と全体の整備計画を早急に地元に説明するよう求める。また新設道路については、向陽台の子供たちの通学路確保と上組から提出された要望書を考慮すると、現在村が示している道路以外にもルートは考えられ、地域住民が最も必要とする生活道路を検討いただきたい。

総務課長　計画については、向陽台と上組地区の出前村政で説明している。旧おひさま保育園については、西洗馬地区の災害時の指定避難所や、区全体の集会施設としてリニューアルするのが最大の目的であり、向陽台には集会施設としての利用も可能。向陽台は8月末に地区発足の予定のためその時点で地元と協議したい。

村長　道路の計画は決定していない。ただ旧おひさま保育園は避難所であるため向陽台と旧ふたば保育園を結ぶルートがベストと考えている。ただしこのルート以外に良い案があれば取り入れても良い。

生活道路・西洗馬7号線の整備について

10番　林　邦宏

問　上組地区住民51世帯と向陽台住民11世帯、合わせて62世帯（93％）から署名書添付の要望書が５月16日、行政と議会に提出され受理された。要望の趣旨は、先人達から今日まで地区住民の村中心部への唯一の生活道路で、向陽台の宅地造成に伴い交通量が増加し、幅員の狭い状況下では、普通車同士のすれ違いにも支障をきたし、また長坂周辺では環境整備が不行き届きで、山側・谷側から樹木が覆いかぶさり、天候や時間帯によっては不気味さが漂う村道で、坂の頂上付近には見通しの悪いカーブがあり〝事故る寸前だった〟と危険体験された体験談も耳にし、冬季の除雪体制の遅れも問題です。５月29日の出前村政で村長からこの要望書の内容に関して、前向きな発言をいただきましたが、今後の村道７号線対応について村長のお考えを具体的にお聞かせ下さい。

村長　通称長坂と言われている道路で、両側から桧が覆いかぶさっているので、所有者としっかり話をさせていただき、枝打ちを実施していただくことに成っている。

問　枝打ちは周辺の環境整備という観点で対応されると受け止めました。出前村政の折、長坂を拡幅したとき大丈夫か冬場でも大丈夫か専門家に研究調査させると答弁しおりますが具体的にどのようにされるのか。

村長　長坂は非常に危険な場所で日の当たらない道路を拡張しても有効なのか調査を専門家にしていただきます。

問　本年２月中旬に針尾地籍で道路管理の瑕疵が発生し４万円程の物損損害賠償額が支払われております。坂上部の見通しの悪いカーブは下からも上方が、上からも下方の安全確認ができるカーブミラーの改善や道路標識を設置し村道西洗馬７号線からは絶対瑕疵を発生せぬ、安全対策を即、実施してほしいのですが、如何ですか。

産業振興課長　今後拡幅が有効であるかどうかの調査を行うなかで坂上部のカーブをどうしたらよいかの検討になると思われます。支障木は、安協朝日支部の皆様にお願いし対応する。

新しい子育てスタイルの研究について

1番　髙橋廣美

問　当村の子育て支援、幼児教育は新保育園の設立により、充実してきた。しかしながら、最近、豊かな自然の中で屋外体験活動を通じて心身を育む「森のようちえん」が各地に広がってきた。子供の主体性を重視し、友達との遊びや、自然体験を通じて、自分で考え行動できるようにするという、欧州発祥の幼児教育です。今年度から、信州型コミュニティスクールがスタートするという。その説明は、「自ら考え」「行動し」「新しい時代を主体的に切り拓く力を身に付ける」子供を育てるのが目的だという。お聞きをしたい。現状の保育、子育て支援でいいのか、新しい感覚で、自然豊かな朝日村らしい「森のようちえん」の必要性と、その実態研究を始めたらどうか。従来から計画のある「森林セラピー」と共に、子供たちの自然体験ゾーンとして森林整備をしたらどうか。

教育長　朝日村らしい木の香りの園舎は好評であり、園庭ではドロにまみれて遊ぶという時間も持っている。今年度の園の方針では、村の自然を取り入れた保育をしたいとある。ボランティア団体の協力を得ながら自然体験活動を積極的に行っていきたい。尚、遊歩道も含めた体験ゾーンについては産業振興課と相談しながら進めていきたい。

鳥獣被害防止柵復旧計画について

2番　中村賢郎

問　平成27年1月29日～1月30日の雨氷倒木により、被害を受けた防止柵の復旧について次の項目を聞きました。

(一)先ず、この防止柵設置が国の補助事業として実施されている経緯の中で、財産処分の申請の手続きの後に倒木等の整備等の時間がかかる中で、破損箇所の撤去及び修理について今後の予定を聞きました。(二)次に鳥獣被害防止の応急対策について具体的な方法について聞きました。(三)最後に防止柵が未設置の箇所への今後の対応について聞きました。設置された距離は平成27年度まで約18.5kになり、未設置の距離は約6k～7kとなっていますが、完成の予定について聞きました。

回答は次の通りです。既に国への財産処分の申請の協議を行っており、協議が整い次第7月に本申請、8月に許可になる見込みとなっており、9月より破損箇所の撤去に入るとの見通しが示されました。次に応急対策については、簡易電気柵の貸出しを行い被害の軽減を計るとの回答です。次に事業の完了年度の予定は平成30年を見込んでいるが復旧工事との関連で予算配分によっては1～2年延びる事も考えられるとの回答でした。

第3回目のプレミアム付商品券の販売について

問　平成28年4月23日より販売を開始した第3回目のプレミアム付商品券の販売状況と併せて現状についての村側の考え方を聞きました。

回答は次の通りです。現在の販売状況は約2500セットであり、残りが約500セットある。発売以来約2ケ月が過ぎている中で、完売出来ないのはプレミアム分が今回より20％になった事の影響があったのか又、他の原因があるのか現時点ではっきりしないが、村内の商工業の活性化に一定の効果があったと評価している。只、完売できていないので対応については今後の課題として取り組みたい旨の回答でした。

今後の事業計画と財政状況について

3番　上條俊策

問　村は今、大型事業を計画していますが、それに係る資金計画と将来の財政計画を質問した。

上條総務課長　村は総合計画・実施計画に沿って大型事業として、①新庁舎建設に総額10億円(内訳…木材1億円、土地6千3百万円、設計建築6億5千9百60万円、備品3千万円・外構工事1億4千万円、移転費用7百40万円)②新保育園・新庁舎南道路建設に4億2千5百万円③向陽台道路建設に1億3千万円④旧おひさま保育園改修工事6千万円⑤西洗馬公民館建設補助金6千万円⑥第5分団詰所建設工事3千9百40万円⑦消防無線整備事業7千万円⑧ヘリポート造成事業1千万円⑨小学校プール屋根改修工事1千7百90万円⑩美術館収蔵庫増設1千1百万円⑪簡易水道統合事業1億9千7百万円⑫向陽台・中組県道配水管布設替5千5百60万円⑬ピュアライン朝日再構築事業1億5千7百20万円⑭中組バイパス配水管布設替事業1億6百50万円等を計画している。尚、基金は27年度30億円で内庁舎建設基金は10億3千5百万円。29年以降も20億円の基金残高を見込んでいる。

問　今後とも無駄を排除して、健全財政を保っていただきたい。

村道等環境点検結果に基づく進捗状況について

問　昨年、行政・地区役員・議員により、村道の総点検を行ったが、その実施の進捗状況と早期実施を質問・要望した。

上條産業振興課長　要望箇所は80件あり、23件は実施した。費用のかかる案件もあり、財源を模索中である。優先順位に従って実施してゆきたい。学校坂の森林整備は、7月中に所有者と打合せの予定となっている。

問　住民のみなさんは、毎日の生活に密着していることなので、財政状況等も検討し、できるものなら補正予算を組んででも1日も早い実施を要望しました。

災害への備えと安全対策
コテージの今後について
地域資源を生かした観光の充実を

5番　齊藤勝則

災害への備えと安全対策

問　熊本や東日本大地震も未だに大変な状況です。村内を見てみますと雨氷被害は甚大です。そこで沢筋の整備と整理整頓が急務と思うが、又実際に支援に携った村内の方々や専門家のシンポなどもやった方がよいと思いますが、又今後の対応の進め方は。

村長　雨氷被害については、砂防指定地は松建に、保安林指定地については地方事務所林務課に緊急対応を依頼している。又初動対応を重視した職員の訓練もしています。災害でも夜の対応は厳しいと思う。近年新しく土砂災害訓練を取入れ、自助と共助による地域毎の訓練を実施している。初期対応の防災無線は他に先がけてやっている。

コテージの今後について

問　利用率８％は、辺地債を使ったとしても費用対効果が余りにも低すぎます。又不具合も出て出費も嵩んでいます。麻績の高原の別荘のように空き別荘の対処に苦労していることのない様に、何か秘策を考えているのでしょうか。又10棟のうち半分位を村内外の利用したい別業界に指定管理を変更して利用率を上げてはどうかお聞きしたい。

答弁　１、２年の結果で決めるのは早計、地元入三地区では歓迎されている。樫山の今後に期待している。県外来村者からは好評を得ている。８月の県内政務調査会、10月には中部ブロックの会合に全館使用予定とのこと。指定管理者を分けることは毛頭考えていない。

地域資源を生かした観光の充実を

問　観光協会設立の気運が高まって来ている昨今、いい施設を持っているのに訴える力が弱く、いま一つ生かされていない。施設も個々でなく村内すべての魅力を一体化してＨＰやパンフ等で宣伝する必要があります。保育や福祉、子供の医療など県内でも高い評価もあり、若者向け住宅とあわせ商工業・文化の発信が大切と思う。庁舎に来るビックと農協の生活店舗とのバランスは。又古見バイパスも必要と思うし、遊休農地の利用についても聞きたい。

村長・課長　ビックとＪＡ店舗はＪＡとの話し合いで優先して考えていて、相乗効果を期待している。ＰＲでは若い感覚でＨＰの発信に力を入れたい。又観光協会については商工会に検討してもらっている。新庁舎完成の頃発足出来ればいいと思う。

かたくりの里竣工式

朝日村が平成27年６月より進めてきた「かたくりの里」の増改修工事が完成し、４月10日に多くの関係者が参加する中、竣工式が行われました。

増築部分は約５５０㎡で、既に平成27年11月に工事を終了し、新しいデイサービスセンターとして利用が始まっています。利用者の集う「デイルーム」を従来より約60㎡広くしたり、老朽化などが進んでいた設備も一新し特殊浴槽も設置し、利用者の方の新しいニーズにもお答えできる様配慮されています。又改修した旧デイサービスセンターは交流施設「えべやかたくりの里」として今後は元気な高齢者や地域の人が自由に集う施設として利用されます。

今回の増改修に要した総事業費は約３億８千万円余りですが、今後村の福祉の拠点として多くの皆様のご利用を願う所です。

尚、当日は竣工式後一般の方の施設の内覧会が実施され多くの方が見学に訪れておりました。

最後に２年間に渡り、ご苦労を頂いた「かたくりの里建設委員会」の委員の皆様に心より感謝申し上げます。

（中村賢郎）

鎖川河川愛護会の河川整備に参加して

毎年、春と夏の年二回の鎖川愛護会による河川整備に議会としても全員で参加をしています。

去る４月９日、春の河川整備が行われました。チェーンソー、刈り払い機等でアカシヤを始めとする雑木、雑草の除去と空き缶、ゴミ等を拾う作業が行われました。鉢盛山を源流とする鎖川は下流域の水源であり、いわな、やまめ、あゆ等の川魚の生息地としても大変重要な自然資源です。お盆には子供たちに大人気のやまめのつかみ取りもあり、その準備での夏の作業はまた力が入ります。

さて今年はうれしいニュースがありました。自然エネルギーの太陽光発電施設を古見原で管理をしている株式会社アイネットが、地域貢献として、地球環境や地域環境に関する活動において、功績のあった個人・団体等を表彰する「しおじり・あさひ環境大賞」事業を発足しました。

なんと、その第一回の最優秀賞に「鎖川河川愛護会」が選ばれ受賞いたしました。永年、自主的に鎖川の清掃に取り組まれていることが認められたものであり敬意を評するものであります。

（高橋廣美）

議会活性委員会活動報告

５月29日、朝日村ＡＹＴマルチメディアにおいて長野県議会議員・清沢英男氏と朝日村議会議員合同勉強会を実施。６月23日、同じくＡＹＴマルチメディアにおいて朝日村5地区の区長及び区長代理と、区懇談会を実施しました。これは昨年度より発足しました議会活性化員会の活動指針に基づくもので、議員の更なる資質向上と自己研鑽、そして議会活動の内容を多くの村民の皆様に知って頂き、開かれた議会、親しみやすい議会を目指そうと歩み出したものです。

勉強会においては、長野県政の報告会はもとより、清沢県議がこれまで歩まれた政治姿勢について語って頂き、また、区懇談会においては朝日村の現状や疑問、課題を積極的に意見交換することができました。近年、地方議会においては、議員のなり手不足の現象が目立ち、その中でも若手議員・女性議員が少なく、議会機能が活性化をしてないのが現状です。私共、朝日村議会は議会活動の見える化を目指し、常に住民の代表として村民の目線に立ち安心安全で活力ある村民生活の維持向上の為に尽さなければならないと感じました。

今回の勉強会及び区懇談会を通し、今後の議会活性化に向け、各議員一人一人の役割と責任の重さを改めて認識すると共に、私たち議員が一致団結をして行政と共に歩み、未来の朝日村の為に尽くすべく気持ちを新たにしたところであります。

（北村直樹）

村民の声

願う子どもの姿

育ってほしいと願う子どもの姿を、三点に集約して述べさせていただきます。一つ目です。「浸り切ることができる子ども」を願っています。我を忘れて何かに浸りきる中で、自分も含めて周りを客観的に見る力がつき、豊かな感性が育ちます。二つ目です。「人とより良く関わろうとする力」をつけたいと考えます。友達や他人とより良く関わるために最も必要な力はコミュニケーションの力です。そして必要となるコミュニケーションの力は6つあると考えます。それは、①聴こうとする力、②発言（発信）する力、③質問する力、④反対意見を言う力、⑤説得する（させる）力、⑥同調する（納得する）力です。この力は、これからの国際社会においても必要不可欠な力となります。最後三点目です。「学び方を学ぶ子ども」を育てる必要があります。知識は力、しかしそれだけでは十分ではないのです。これから生きていく社会は、待っているだけでは何もあたえてくれない社会であり、先も見通せない不透明な社会となります。持てる力を発揮し、創造性豊かで柔軟な思考も必要です。保育園で夢中になって遊ぶ子、授業に集中して参加する子、わくわく館で工夫して遊ぶ子を見るにつけ、朝日の子ども達は、願う子どもの姿に照らしても、確かに成長していると感じています。これからも子ども達の成長のため、多くの皆様のお力を是非お貸し下さい。なにとぞよろしくお願い致します。

教育長　二茅　芳郎

二茅　芳郎さん

編集後記

去る7月10日は参議院選挙が実施されました。その結果等については皆様の記憶に残っている事と思います。今回の選挙から選挙制度が一部変更になり選挙権年齢が18歳以上に引き下げになりました。その結果全国で約240万人の有権者が増えました。これからの日本を担う若者の投票行動について、多いに関心を集めましたが、10代の投票率は45.45％だったと発表されました。この数字が高いのか低いのかわかりませんが、若者全体の投票率の低下が心配されている中で、是非これからの各種選挙の投票に参加することをお願いします。

次に今回より選挙区の「合区」という制度が始まりました。隣接する2つの県を1つの選挙区とするもので、今回は4つの県に導入されましたが、歴史や文化・伝統等に違いがある中で、これから難しい面がでる心配があります。

最後に長野県区の結果を見ますと二人の候補者がそれぞれ50万票前後の票を集める大激戦となりました。結果はでましたが当選された議員さんには、今回の結果を充分にふまえ活動をして頂きたいと願うところです。

（中村賢郎）

発行責任者
議長　清沢　正毅
編集委員長　小林　弘幸
委員　塩原智恵美
副委員長　上條　昭三
委員　中村　賢郎
北村　直樹
写真担当　林　邦宏

議会活動日誌

4月		活動内容
1	金	消防団任命式
4	月	あさひ保育園入園式
5	火	朝日小学校入学式／鉢盛中学校入学式 議会活性化委員会
9	土	鎖川愛護会、鎖川河川清掃
10	日	かたくりの里竣工式
11	月	行政視察〈長和町〉
12	火	行政視察〈設楽町〉
13	水	全員協議会／常任委員会 議会だより編集委員会
20	水	新庁舎建設委員会
22	金	たんぽぽの会総会
25	月	新庁舎建設地住民説明会
26	火	例月出納検査・随時監査
27	水	鳥獣被害防止対策協議会 松くい虫防除対策協議会

5月		活動内容
8	日	朝日村長寿を祝う会
10	火	朝日村・松本市下水道協議会
14	土	大尾沢林道愛護会御水神祭
15	日	消防団総合訓練
16	月	上組地区要望
19	木	全員協議会／総務産業委員会／社会福祉協議会監査
20	金	塩尻・朝日防犯協会連合会定期総会 村商工会通常総会
23	月	塩尻交通安全協会 自家用自動車協会通常総会
25	水	例月出納検査・随時監査
26	木	議会運営委員会／土地開発公社理事会
27	金	JA松本ハイランド通常総代会
29	日	清沢県議懇談会
30	月	全国議長副議長研修会 塩尻地域シルバー人材センター定時総会
31	火	全国議長副議長研修会

6月		活動内容
3	金	松本糸魚川連絡道路建設促進期成同盟会総会
5	日	全国植樹祭
7	火	庁舎建設委員会
8	水	村議会6月定例会本会議／全員協議会
14	火	常任委員会
17	金	村議会6月定例会本会議一般質問
21	火	村議会6月定例会本会議／全員協議会 行政視察
22	水	JA松本ハイランド朝日支所行政懇談会
23	木	朝日小学校音楽会／民生委員推薦会 区長懇談会
26	日	上組・向陽台地域要望議会報告会
28	火	例月出納検査・随時監査
30	木	松塩地区広域施設組合議会運営委員会／交通安全推進協議会定期総会・交通安全住民大会／防犯協会総会